



衣川区

地域活性化に向け連携体制 北股に高齢者組織「北生会」が誕生

衣川区北股地区の高齢者組織「北生会」の設立総会が3月26日、来賓を含め約40人が出席し、同区の国見平温泉で開催されました。

同会の設立は、ことしの1月に北股地区振興会が、高齢者を取り巻く現状などの懇談を行ったのがきっかけ。独自に事業を行うほか、振興会と連携することでさらに地域の活性化を目指すものです。会の名称には「北股に生きる人が、誰でも気軽に楽しく参加できる会」という思いが込められています。

設立の経過を説明する高橋奉美・設立準備委員長。設立総会で会長に就任



むがさり行列を当時の装いそのままで表現

胆沢区

胆沢に伝わる伝統を後世に いさわ伝承芸能まつり

第22回いさわ伝承芸能まつり（同実行委員会主催）が3月10日、胆沢文化創造センターで開催され、団体や個人が民謡や踊りなどを披露しました。

この催しは、地域に伝わる文化を次世代に残そうと毎年行っているもので、同区南都田の南下幅長生会（佐藤智佐人会長）は、昭和30年代に行われていた婚礼の「むがさり」を再現。今では見ることがない花婿と花嫁の両家が行う儀式に、来場者約400人は懐かしそうに見入っていました。

水沢区

3偉人が現代に舞い降りた 市民映画「帰って来た三偉人」が完成

動画サイト専門劇団・大町小町による市民映画「帰って来た三偉人」が完成し、上映会が3月3日、メイプル地下多目的ホールで行われました。

東日本大震災の被害を心配し、高野長英、後藤新平、斎藤實の3偉人が現代に舞い降りるという内容。3人ゆかりの場所を巡りながら、夢を持つことや努力することの大切さを説くというストーリーです。

この日は、市民や関係者約120人が鑑賞。今後は市内各地で10回程度の上映が行われる予定です。

映画のシーン。3偉人が奥州市を語る



委嘱状を手に笑顔の甚句むすめ（左から老藤さん、菊池さん、澤田さん）

江刺区

甚句まつりを盛り上げます 江刺甚句むすめが決定

江刺区を会場に開催される第40回江刺甚句まつり（5月3・4日の両日開催）に先立ち「江刺甚句むすめ」の委嘱状交付が3月26日、江刺総合支所で行われました。

関係者などが見守る中、老藤幸さん（24）菊池智佳さん（24）澤田加奈さん（24）の3人に後藤新吉副市長が委嘱状を交付。澤田さんは「たくさんの人に甚句まつりを宣伝したい」と力強く語りました。今後はキャラバンなどを行い、祭りをPRしていきます。



福祉施設の人気商品勢揃い

第1回A・B級グルメグランプリ



各事業所が腕によりをかけたおいしい商品が並び会場は大にぎわい

46カ所の障がい者福祉サービス事業所からなる県南ネットワーク「あべじゃネット」が主催する第1回A・B級グルメグランプリが3月14日、市役所1階ロビーで開催されました。

ことし初めて行われた品評会で、9事業所が参加。菓子類やおでん、ハンバーガーなど、それぞれ自慢の16品が並ぶと、会場は食欲をそそる芳ばしい香りがたち込め、人だかりができました。試食した人たちによる投票の結果、社会福祉法人ひまわり会「ひまわり園」のオレンジレアチーズケーキが県南広域振興局長賞を獲得。同会指導員の高橋美穂さんは「食べやすいよう改良を重ねました。生みの苦しいが評価されてうれしい」と笑顔を見せました。

前沢区

食べて感じて！奥州の味を 春を満喫！南いわてキャンペーン

県南広域振興局などが主催する「春を満喫！南いわてキャンペーン」が3月23日、東北自動車道前沢サービスエリア（下り線）で行われました。

春の観光シーズンを前に、県南地域への誘客を図ろうと、観光客にパンフレットなどを配布しました。市内から（株）水沢米菓せんやが参加し、手焼きせんべいの体験を実施。同社の小野寺勇介さん（27）は「県外の人に岩手のおいしいせんべいを食べてほしい」と、食の面から岩手の良さをアピールしました。



せんべいの手焼きに挑戦する観光客



息の合った演奏を披露する受講生たち

胆沢区

レッスンの成果で観客魅了 ジュニアオーケストラ演奏発表会

奥州ジュニアオーケストラスクールの演奏発表会（NPO法人胆沢文化会館自主事業協会主催）が3月17日、胆沢文化創造センターで行われました。

小学1年生から中学3年生までの受講生は、観客約100人の前で練習の成果を披露。ゲストのいわてフィルハーモニーオーケストラも「となりのトトロ」などを演奏しました。バイオリン担当の衣川小の熊本怜央君（8）は「集中してカノンを合奏できたのがよかった」と笑顔で語りました。